

名古屋経済

◇来月に「訪ねてみよう南区の歴史」イベント◇
熱田・南・瑞穂・緑区の4区が連携して、同区内で東海道の魅力を発信するイベントを開催する。
南区では10月29日、見晴台考古資料館をス

ート地点として、「訪ねてみよう南区の歴史、区長と歩こう東海道」を行う。歴史語り人の案内で、笠寺一里塚や笠寺観音などを区長とともに参加者が歩く。
定員は60人。参加費は無料。参加者全員に記

念品をプレゼントされる。
申込み方法は10月14日までに往復はがきで南区役所まちづくり推進室に必着。
問い合わせは同区推進室(電話052・823・9325)まで

Nagoya Business

カタログギフト通販

国内最大規模サイト開設

ハッコー商事

卸のノウハウ活用

8社
取り扱い 年3万6000個が目標

ギフト商品卸のハッコー商事(本社名古屋港区築盛町47、伊藤歩社長、電話052・653・8068)は、カタログギフトの通販サイトを開設した。国内最大規模となる、大手から中堅まで8社のカタログをそろえる。カタログを総合的に取り扱うサイトは極めて少なく、競争優位性が高いと判断した。一般ユーザーに販路を拡大し、利益率改善につなげる。3年以内に年間3万6千個の取り扱いを目指す。

(山田悠)



本社内にもカタログを豊富にそろえ、地域の顧客などに販売している

設立は1980年。を活用し、8社・20ア全国のギフト取扱店アイテム以上のカタログや、結婚式場などにギフトをそろえる。分野は総合、グルメ、現物の業況は、流通構に特化した商品、環境、価格競争が激しい。配慮商品など幅広い。そこで新たな収益源としてカタログギフトとしてカタログギフトのネット販売に着目した。ユーザーに直接販売することで販路を拡大。利益率を高める。新設した通販サイト名は「ファミリータイムズ」。長年培ったギフト商品の取引ノウハウ

のサービスなどを実施している。カタログギフトは送り主が相手にカタログを送付。相手はカタログの中から好きな商品を選ぶ。しかし、カタログギフト利用者は、さまざまなギフト会社自体を選ぶ機会が少ないのが現状だ。例えば、結婚式。引

河くクゆ江一、人産江源